

奈良美智

青森県弘前市生まれの画家、彫刻家。愛知県立芸術大学大学院修了後、ドイツの国立デュッセルドルフ芸術アカデミーに留学。1980年代末のドイツ留学中から奈良は、デフォルメされた人物や動物を太い輪郭線で縁どり、大きく画面いっぱいに描くようになる。形や色彩は簡略化され、どこかおとぎ話に出てきそうな物語性を感じられる。無邪気で可愛らしい子どもなのにどこか挑戦的な眼差しで観る者を見つめる表情は、孤独で意地悪な気持ちをももち合わせているような独特な人物像で、日本の新しい具象絵画の可能性を広げた。90年代からはFRP(強化プラスチック)による立体作品も制作している。2000年に帰国し、東京を拠点に活動している。ニューヨーク国際センター賞や芸術選奨文部科学大臣賞など数多くの賞を受賞。